

科目名	単位数	学年	クラス
言語文化	2単位	1学年	1年A型

1, 概要及び目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2, 評価の観点及び評価方法

評価の観点

知識及・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に向かう態度
<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強い取り組みの中で、自分の学習を調整しようとしている。 自らの理解の状況を振り返ることができる。 自らの考えを記述したり、話し合ったりできる。 他者との協働を通じて自らの考えを相対化することができる。
評価方法	評価方法	評価方法
発言（質問）、授業への取り組み状況、提出物の状況、自己評価、相互評価、定期考査における論述など。	授業態度、発言、音読・朗読、ノート点検、ワークシート、課題プリント、レポート、作文、批評、論述、自己評価、相互評価、小テスト、定期考査など。	発言、朗読、ワークシート、小テスト、課題プリント、ノート点検、レポート、自己評価、定期考査、出席状況、授業態度など。

上記の評価の観点を踏まえ次のような配分で総合評価を行う。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に向かう態度
定期考査・臨時考査・レポート	定期考査・臨時考査・発表・レポート・ノート・宿題等の提出物	定期考査・臨時考査・発表・レポート・ノート・宿題等の提出物・出席状況・授業態度
100	100	100

3、使用教科書教材等

- ① 教科書 『言語文化』大修館 ② その他、ワークシート等

4、授業の展開と形態

令和5年度は、特進クラスは1クラス2展開、普通クラスは2クラス3展開で行う。

5、学習方法 (授業の受け方、家庭学習等)

予習・・・事前に作品を読み、自分なりの感想、理解できなかったところ、特に調べたいところ等を簡単にまとめておく。意味がわからない語句等は辞典で調べておく。漢字も確認し、すべて読み書きできるようにしておくことが望ましい。

授業中・・・集中して授業に臨み、気がついたことや考えたこと、覚えておきたいことはノートにメモしておく。また、講義を聴くのみでなく、自分の頭で考え、必要に応じて意見や感想も発表できるようにする。板書は学習の記録であるから、後で見やすいように丁寧に書き写すこと。また、自分の意見や感想等もメモしておくことさらによい。

復習・・・これまでの学習を振り返り、まとめをする。語句や漢字もきちんと身に付いているか自己チェックする。

6、その他：履修上の留意点等

①定期考査、小テスト・実技テストは必ず受けるように心がける。

②提出物は期限厳守で忘れずに提出する。特に、1学期課題の意見文と夏休み課題の読書感想文は配点が高いので、必ず提出する。

様式3「言語文化」シラバス 年間計画

	配 当 時 間	単元名 小項目	学習内容	到達目標 (指導目標)	評価	
					発表 提出等	テスト等
1 学 期	2	・オリエンテーション	・学習内容と目標の理解	・学習の見通しを持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ。	・感想と目標を書いて提出	
	6	・言葉の森を育てよう	・通読、語句の意味調べ、内容読解	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する	・発表 ・プリント提出 ・ファイル提出	・豆テスト
	6	・水かまきり	・通読、場面設定、内容読解、言語活動として四コマ漫画などの作成	・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	・発表 ・プリント提出 ・課題の提出	中間考査
	3	・古文の言葉と仮名遣い	・五十音図の確認、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いについて	・現代文と古文の異なる特徴について理解する。	・プリント提出	・豆テスト

	2	・文の構造	・文節・単語・品詞・自立語・付属語・体言・用言について	・文の構造を理解する。	・プリント提出	豆テスト
1 学期	6	・用言の活用	・用言の種類、動詞、形容詞、形容動詞の活用について ・係り結びの法則	・用言の活用について理解する。	・発表 ・プリント提出	豆テスト
	2	・いろは歌	・いろは歌の意味の理解、音読、暗記。	・いろは歌を理解し覚える。	・発表 ・プリント提出 ・ファイル提出	・暗唱テスト
	2	・古文冒頭選	・音読	・声に出して読み古文の響きやリズムを味わう。	・音読	期末考査
	4	・児のそら寝	・音読 ・古語辞書を使って、語句の意味調べ ・現代語訳 ・内容読解	・繰り返し音読し、古文の読みになれる。 ・登場人物の行動、心情の移り変わりを読み取る。	・発表 ・プリント提出 ・ファイル提出	・ 夏季休暇
2 学期	2	・one-week トライアル 予習	・one-weekの課題に取り組む。	・問題を解いて、自分の不得意な分野を確認する。		
	8	・羅生門	・通読 ・初発の感想 ・語句の意味調べ ・比喩表現の確認とその効果 ・登場人物の心理の変化について。 ・『今昔物語集』について。	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をして解釈を深める。	・発表 ・課題（感想文やその後のストーリー）の提出 ・プリント提出 ・ファイル提出	・豆テスト

	4	・訓読のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と漢文の語順の違いについて ・返り点のルールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点のルールに従って、正しく書き下し文に直すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提出 	中間考査
2 学 期	3	・格言	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・返り点のルール ・返読文字 ・助字・置き字 	<ul style="list-style-type: none"> ・格言を読み味わい、漢文訓読に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提出 	・豆テスト
	2	・再読文字	<ul style="list-style-type: none"> ・再読文字の種類と読み方 	<ul style="list-style-type: none"> ・再読文字の読み方と働きを知り、訓読になれよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提出 ・ファイル提出 	・豆テスト
	4	・守株	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・訓読の仕方の確認 ・農夫がすきを捨てた理由を考える ・漢和辞典で「株を守る」の意味を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・この話で語られている教訓の意義を理解する。 		
	5	・祖母が笑うということ	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・常用漢字の読み書き ・場面設定 ・叙述と心情理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の展開の仕方や、表現の仕方に着目し、文章表現を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント提出 ・ファイル提出 ・発表 	期末考査
3 学 期	6	・ほどほどのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・副詞の意味や役割について ・常用漢字の読み書き ・文章の種類について ・内容・構成について 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインを通して、日本文化の特色について自分の考えを深める。 ・日本のデザインに見られる、独特の感性について、筆者の主張を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル提出 ・ 	・豆テスト
	8	・詩歌の調べ	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・内容の解釈 ・詩形・対句・押韻 ・修辞法 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の詩歌に親しみ、詩歌を読み味わう。 ・詩歌を創作することを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・プリント提出 ・公募作品への取り組み 	学年末考査

